

一般国道474号 三遠南信自動車道青崩峠道路

(静岡県浜松市)

事後調査報告書

(トンネル工事：中間年次報告)

令和2年7月

国土交通省中部地方整備局

目 次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 事業の概要 | 1 |
| 1.1 事業者の氏名及び住所 | 1 |
| 1.2 事業の名称 | 1 |
| 1.3 対象事業の目的及び内容 | 1 |
| 1.3.1 対象事業の目的 | 1 |
| 1.3.2 対象事業の内容 | 3 |
| (1) 対象事業の種類 | 3 |
| (2) 対象事業実施区域 | 3 |
| (3) 対象事業の規模 | 5 |
| (4) 車線数 | 5 |
| (5) 設計速度 | 5 |
| (6) 道路の区間 | 5 |
| (7) 計画交通量 | 5 |
| (8) 環境影響評価の手続き経緯 | 7 |
| (9) 工事の状況 | 7 |
| 2. 事後調査を行った理由 | 8 |
| 3. 事後調査の項目及び手法 | 9 |
| 4. 事後調査の結果 | 10 |
| 4.1 事後調査の実施状況 | 10 |
| 4.2 事後調査(土工、橋梁、トンネル工事中) | 11 |
| 4.2.1 工事管理の一環として実施する項目 | 11 |
| (1) 河川水質 | 11 |
| (2) 工事による排水及び地下水位 | 19 |
| (3) トンネル掘削による地質 | 26 |
| (4) 建設発生土 | 29 |
| 4.2.2 予測・評価、環境保全措置の結果に不確実性が伴う項目 | 32 |
| (1) 地形及び地質：足神神社の湧水 | 32 |
| (2) 動物：クマタカ | 37 |
| (3) 動物：アカイシサンショウウオ及びヒガシヒダサンショウウオ | 47 |
| (4) 動物：鳥類 | 54 |
| (5) 植物：シデシャジン | 61 |
| (6) 生態系：ネバタゴカエル | 66 |
| (7) 生態系：動物相・植物相 | 70 |

1. 事業の概要

1.1 事業者の氏名及び住所

事業者の氏名：国土交通省 中部地方整備局長 勢田昌功

事業者の住所：愛知県名古屋市中区三の丸2丁目5番1号

1.2 事業の名称

一般国道474号 三遠南信自動車道 青崩峠道路

1.3 対象事業の目的及び内容

1.3.1 対象事業の目的

三遠南信自動車道は、第四次全国総合開発計画で提唱された交流ネットワーク構想を推進するため、全国的な高速交通体系である高規格幹線道路網に位置づけられた一般国道の自動車専用道路である。

この道路は、第1,2東海自動車道や中央自動車道西宮線等と一体となって、我が国の産業・文化・社会経済活動の振興に寄与するとともに、地域相互間の連携強化や既存の高速交通体系に取り残された地域への高速サービスの提供を図り、奥三河・北遠州・南信州地域の秩序ある開発、発展に寄与する道路である。

現在、長野県と静岡県を結ぶ唯一の幹線道路である一般国道152号は、県境の青崩峠で通行不能であり、代替道路である兵越林道（飯田市道南信濃156号線及び浜松市道水窪白倉川線）も狭隘で急勾配や急カーブが連続し、通行に危険が伴うとともに、冬季は積雪や凍結等により実質的に通行不能となっている。

青崩峠道路は、三遠南信自動車道の一部として位置づけられた長野県飯田市南信濃から静岡県浜松市天竜区水窪町に至る延長約6kmの道路（以下、計画路線という）であり、青崩峠の通行不能区間を解消して地域交通の利便性と安全性の向上に寄与するとともに、三遠南信自動車道を形成して、全国的な広域ネットワークの連結による地域連携及び地域振興に寄与することを目的とする。

青崩峠道路は、昭和58年度に一般国道152号の通行不能区間解消を目的に一般国道の一次改築として事業化し、昭和62年度に三遠南信自動車道の一部として高規格幹線道路網に組み込まれた。平成6年7月の草木トンネル供用後、各種調査を進めつつルート選定を実施し、平成13年4月に「三遠南信自動車道の整備方針の見直し」を発表している。

また、平成14年度には地元代表と有識者からなる「青崩峠道路懇談会」を開催し、青崩峠道路を早急に整備するため、以下の提言をいただいた。なお、懇談会における検討経緯の詳細は、飯田国道事務所のホームページに掲載している。

(<http://www.cbr.mlit.go.jp/iikoku/seibi/sanen/aokuzure.html>)

- ① 走行性・安全性・快適性の高いルートとして整備する
- ② すぐれた自然環境や景観に配慮する
- ③ 貴重な文化的遺産の保存に配慮する
- ④ 早期整備・コスト・地域の利便性などの総合的な観点よりルートは、中央構造線の西側の最短ルートとし、2車線で整備する事が望ましい
- ⑤ 草木トンネルについては、より地域の生活道路として活用できるようにする

上記懇談会の提言を踏まえ、引き続き必要な調査を実施し、複数ルート帯について自然環境、地形地質、経済性等を総合的に検討し、環境負荷の少ないトンネル構造を主体とするルート帯で事業計画を策定した。

本事業は、青崩峠道路の静岡県側について整備を行うものである。

三遠南信自動車道の全体計画区間を図 1-1 に示す。

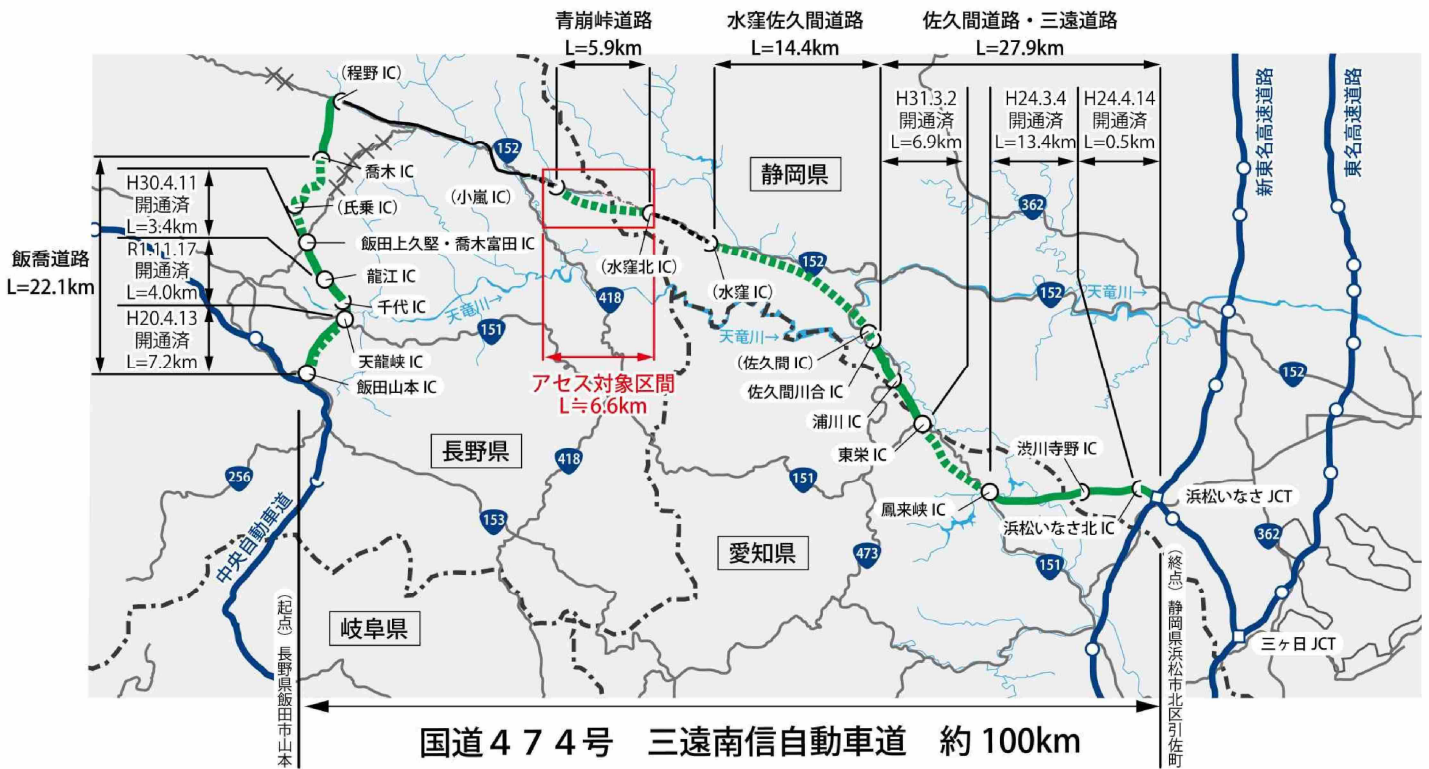


図 1-1 三遠南信自動車道の全体計画図

1.3.2 対象事業の内容

(1) 対象事業の種類

一般国道（高規格幹線道路）の新設

(2) 対象事業実施区域

対象事業実施区域（以下、「実施区域」と称する）とは、特定の目的のために行われる一連の土地の形状の変更並びに工作物の新設及び増改築を行う区域のことをいい、工事のために新たに設置される工事施工ヤード及び工事用道路等を含む範囲のことである。

表 1-1 に実施区域が通過する行政単位を、図 1-2 に実施区域の位置を示す。

表 1-1 実施区域が通過する行政単位

| 県名 | 町名 |
|-----|-----------|
| 静岡県 | 浜松市天竜区水窪町 |

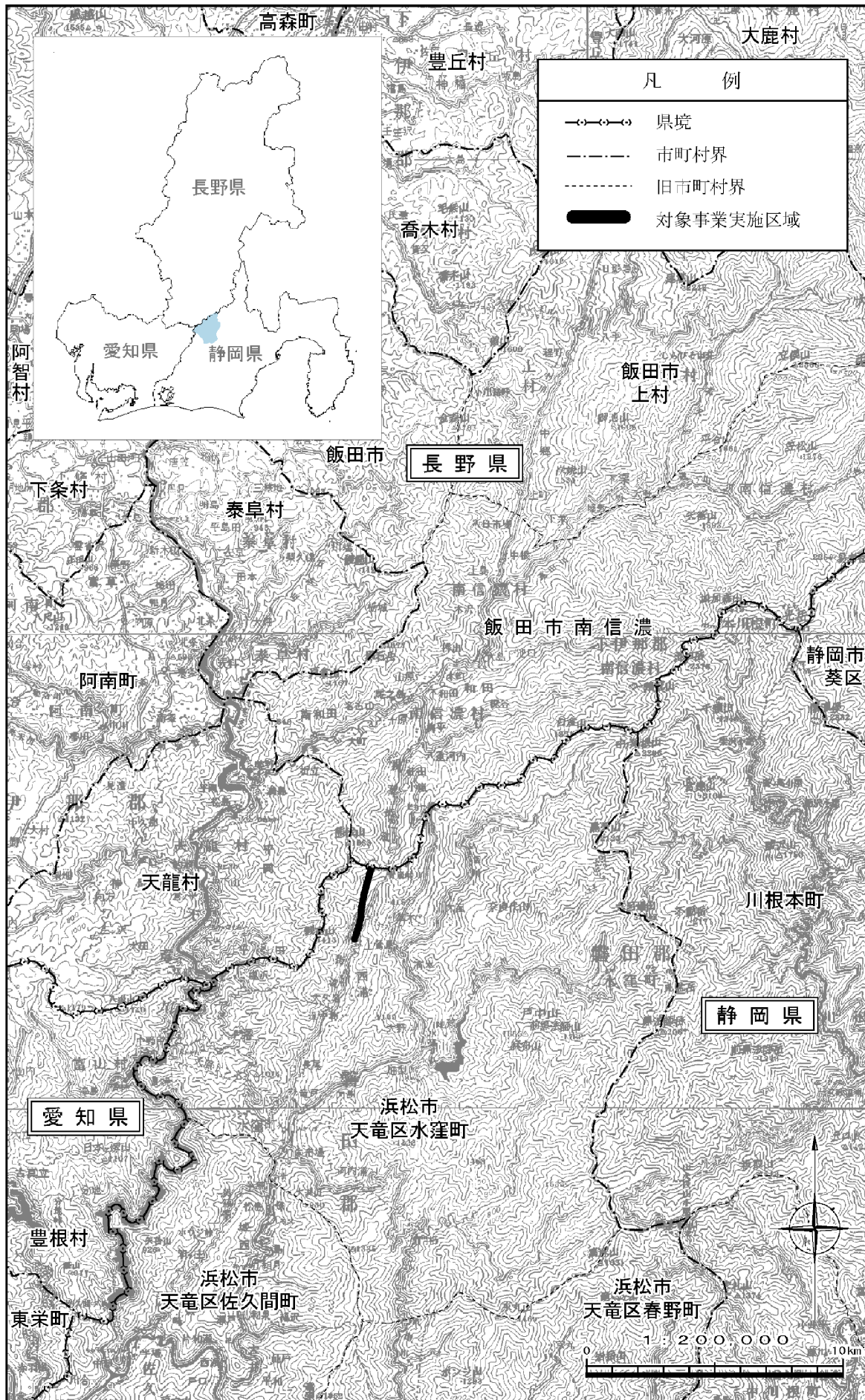


図 1-2 地域の概要図

(3) 対象事業の規模

道路延長：約 3.0km

(4) 車線数

2 車線

(5) 設計速度

時速 60km

(6) 道路の区間

起点：長野県・静岡県境

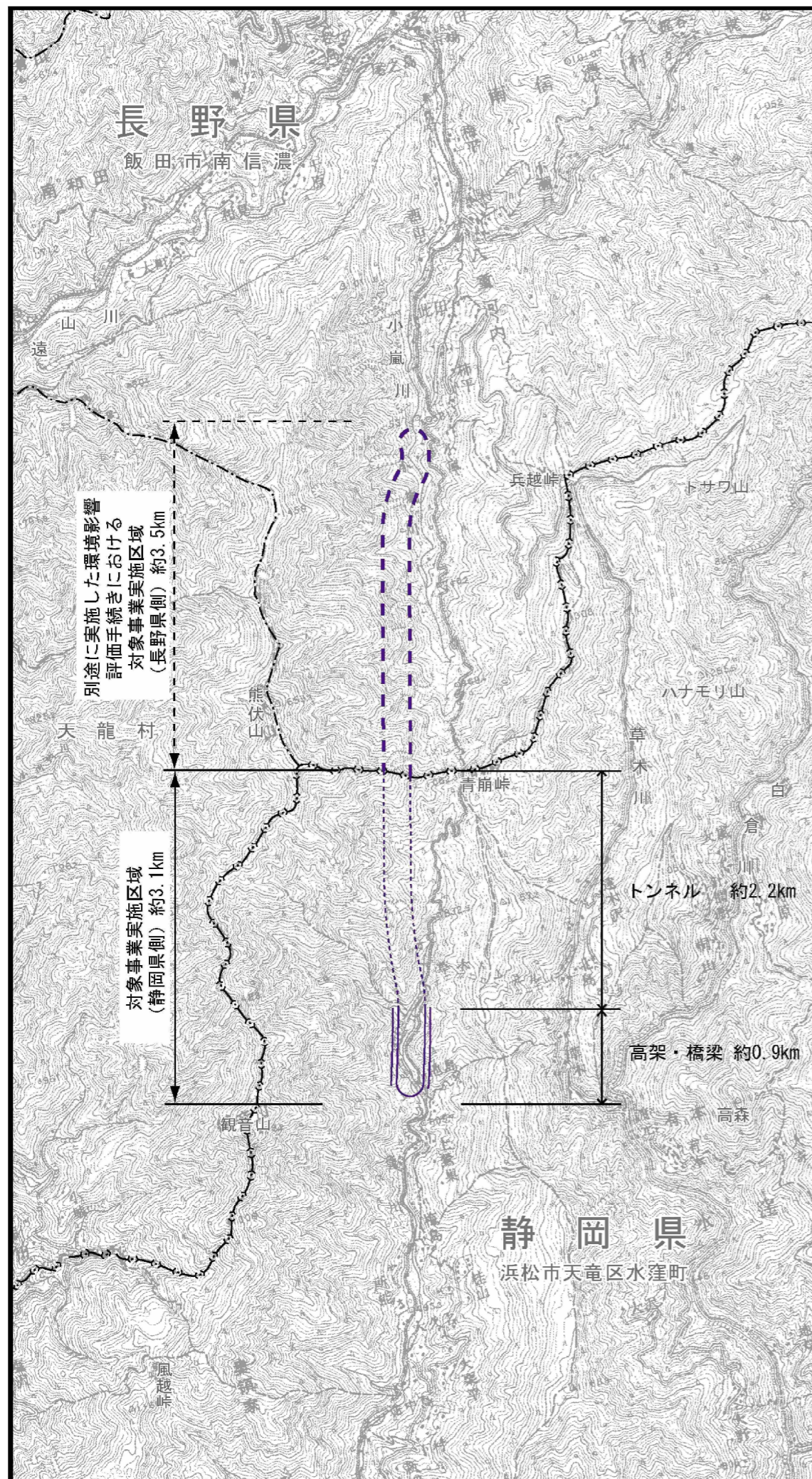
終点：浜松市天竜区水窪町

(7) 計画交通量

2,300 台／日（完成供用時：令和 12 年推計）

注 1) 平成 30 年度事業再評価時の計画交通量。

注 2) 計画交通量は現段階の推計値であり、今後の見直しにより修正する可能性がある。



| 凡 例 | |
|-----|----------|
| 記 号 | 名 称 |
| | 県 境 |
| | 市町村界 |
| | 対象事業実施区域 |

参考

| | |
|--|--|
| | 長野県環境影響評価条例に基づき、別途に実施した環境影響評価手続きにおける対象事業実施区域 |
|--|--|

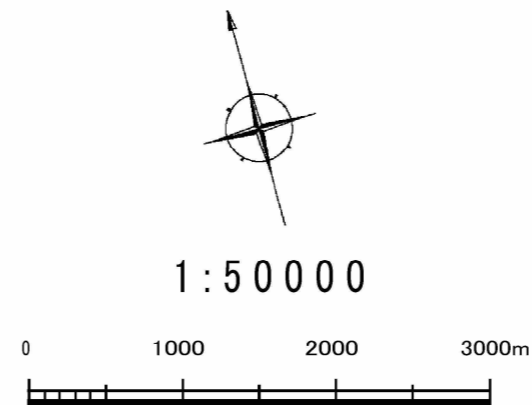


図 1-3 対象事業実施区域

(8) 環境影響評価の手続き経緯

環境影響評価の手続きの経緯を下表に示す。

表 1-2 環境影響評価の手続き経緯

| 方法書 | 年月日 |
|----------------|---|
| 方法書の知事への送付 | 平成 18 年 2 月 1 日 |
| 方法書縦覧 | 公告：平成 18 年 2 月 20 日 縦覧：平成 18 年 2 月 20 日～平成 18 年 3 月 20 日 |
| 住民意見書提出期間 | 平成 18 年 2 月 20 日～平成 18 年 4 月 3 日 |
| 住民意見概要書の知事への送付 | 平成 18 年 4 月 28 日 |
| 方法書に対する知事意見 | 平成 18 年 7 月 31 日 |
| 調査実施計画書・知事送付 | 平成 19 年 3 月 13 日 |
| 準備書 | 年月日 |
| 準備書の知事への送付 | 平成 19 年 12 月 3 日 |
| 準備書縦覧 | 公告：平成 19 年 12 月 13 日 縦覧：平成 19 年 12 月 14 日～平成 20 年 1 月 15 日 |
| 説明会の開催 | 平成 19 年 12 月 20 日 |
| 住民意見提出期間 | 平成 19 年 12 月 14 日～平成 20 年 1 月 30 日 |
| 住民意見概要書の知事への送付 | 平成 20 年 7 月 7 日 |
| 準備書に対する知事意見 | 平成 20 年 10 月 31 日 |
| 評価書 | 年月日 |
| 評価書の知事への送付 | 平成 21 年 4 月 27 日 |
| 評価書の縦覧 | 公告：平成 21 年 5 月 11 日 縦覧：平成 21 年 5 月 12 日～平成 21 年 6 月 11 日 |
| 事後調査計画書 | 年月日 |
| 事後調査計画書送付 | 平成 22 年 8 月 23 日 |
| 事後調査計画書公表 | 公表：平成 22 年 8 月 23 日 |
| 知事意見 | 平成 22 年 9 月 22 日 |

(9) 工事の状況

平成 24 年度から工事着工。トンネル工事は平成 26 年度から調査坑工事に着工、平成 31 年度 2 月（令和 2 年 2 月）から本坑工事に着工した。トンネル調査坑工事は平成 31 年度 12 月（令和 2 年 2 月）に完了している。

表 1-3 工事状況

| 項目 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 (R1) |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------------|
| ヤード | | | | | ■ | | | | | | |
| 土工 | | | | | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 橋梁(池島本線橋) | | | | | | | | | ■ | ■ | |
| トンネル(調査坑) | | | | | | | | | | | ■ |
| トンネル(本坑) | | | | | | | | | | | ■ |
| 工事用道路 | | | | | ■ | ■ | | | | | |